

THE WEEKLY NEWS OF FUTTSU-CHUO

ロータリーに輝きを
Light Up Rotary



寛容の心で、
ロータリーの輪を広げよう

国際ロータリー会長 ゲイリー C. K. ホアン 2014～2015
富津中央RC会長 若鍋 武良
国際ロータリー 第2790地区 富津中央ロータリークラブ 創立:1966/10/13 加盟承認:1966/12/12
RI D2790 FUTTSU-CHUO ROTARY CLUB Organized : Oct./13/1966 Chartered : Dec./12/1966

No.2371 第22回例会 2014. 12. 11 雨

点 鐘：若鍋武良 会長
進 行：須藤 隆 副SAA
ソング：我等の生業
お客様：山田修平 様 地区R財団委員長

会長挨拶

若鍋武良 会長



皆様こんにちは。お客様をご紹介します。パストガバナーで現在地区R財団委員会委員長の山田修平様です。お忙しい所をようこそお出で下さいました。後ほど卓話をしていただくこととなります。宜しくお願い致します。

先週(4日)例会終了後、市内にある「老人保険施設さきくさ」を慰問しました。昨年に続いて2度目の訪問ですが、大変喜んでいただきました。ご苦労様でした。

(ロータリー関連知識)ロータリー年度は何故7月から始まるのか

1910年8月に、国際ロータリークラブ連合会(RI)

の第1回大会が開催され、それ以降8月開催が恒例となりました。1912年8月の大会終了後、理事会が翌年の大会に向け会計監査を会計士に依頼したところ、翌年6月30日までに済ませておくのが良いと提案されましたので、1913年4月に開催された大会執行委員会の会合で、6月30日を会計年度の最終月としました。それ以来ロータリー年度は7月1日になったようです。因みにアメリカの会計年度は10月です。(『ロータリーこぼれ話』より)

会長報告

第3回会長・幹事会報告

先週金曜日に開催された会長・幹事会の報告をします。

1. 地区大会開催 開催日;2015年2月21(土)、22(日)日
場所;アパホテル&リゾート東京ベイ幕張ホール
2. 第四分区親善ゴルフ大会
期日;2015年4月10日(金)
場所;ロイヤルスターゴルフクラブ(旧君津ゴルフ倶楽部)
3. 報告 野村ガバナー補佐より、ガバナー公式訪問・第四分区IMを終えて

〒293-0042 富津市小久保2868
さざ波館 Sazanami-kan
2868 Kokubo Futtsu-shi Chiba-ken,
Zip code 293-0042
Tel.0439-65-3373 Fax.0439-65-3304
URL <http://www.futtsuchuo-rotary.org>



幹事報告

刈込一弥 幹事

1. 例会変更のお知らせ

木更津RC 12月25日 点鐘時間を18:30に変更
忘年家族親睦夜間例会のため

2. 事業報告と寄付願

(財)比国育英会バギオ基金 会長坂本俊雄様より
2013年度事業報告書及びバギオ基金ご案内が送
付され、今後も協力願うとのこと。

委員会報告

指名委員会

高橋裕之 委員長



かねてお知らせの通り、本日18:00より当さゞ波館にて指名委員会を開催します。目的は、次々年度会長候補者、幹事候補者、次年度理事候補者3名の選出です。

更に、次々年度第4分区ガバナー補佐候補者も決めて頂きます。

会長経験者の方々にご参集を願います。

会報・広報委員会

石渡 鋼 委員長



先の11月20日に行われた座談会后、皆さんからお出し頂いた原稿の取り纏めとして先日、当委員会は編集会議を持ちました。そして今日お手元に

一応の綴りとして配布しましたが、編集上、文言字句など多少の変更をさせて頂いた箇所もありますのでよろしいかの目通しをお願いします。

この冊子は皆さんのロータリーへの思いや考え方を記録するだけでなく、会員増強の有力な手助けとして公開活用されますのでその点も踏まえ、再度のご確認よろしくをお願いします。

口財団・米山委員会

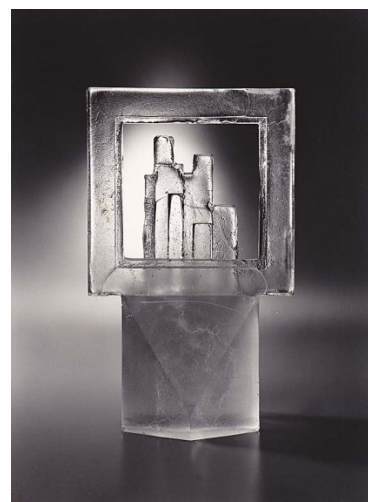
榎本守男 口財団担当部長



11月が財団月間でしたが、クラブ行事が詰まっております日程調整がつかず本日の予定となりました。

卓話者はあえて御紹介する必要もありませんが、皆様ご承知の山田パストガバナーです。2011～2012年2790地区ガバナーを務められました。アカデミアホールで開催された地区大会も進行、接待すべてが感動的な大会でした。

本日は地区財団委員長として卓話をお願いしましたところ快くお引き受けいただきました。有難うございます。よろしくをお願いします。



グラスアート 佐藤信泰

卓話

ロータリー財団の基礎知識

2790地区R財団委員会委員長 山田修平 様



本日は卓話にお招き頂きまして有難うございます。

ロータリー財団委員長の榎本守男氏から、富津中央ロータリークラブ(以下RC)では新会員が3名おり、ロータリー財団のことを良く理解していない会員もいるので、ロータリー財団の補助金を使った活動の仕方や、寄付金の使われ方等を易しく説明して欲しいと依頼されました。そこで、ベテラン会員の方には申し訳ございませんが、ロータリー財団の基礎知識と題して、ロータリー財団についてやさしくお話をさせていただきます。

ポール・ハリスは「ロータリーが私たちにとって何を意味するにせよ、世界は、その業績によってロータリーを知るのです。」と言う言葉を残しています。これは、ロータリアンは行動しなさい、と言っていると思います。富津中央RCの長期計画には、奉仕プロジェクト委員会の中に「2013年までに、各会員個々が世のため人のために、自己の職業以外のことで1件以上の奉仕を試行する。」と掲げてありました。これは実現されましたでしょうか。RCでの社会奉仕活動は、RCの会員に奉仕の訓練を施すために考えられたいわば研究室の実験としてのみこれを見るべきである。と決議23-34にあります。従って、RCとして団体で行動するのは、個人が行う上での手順を学ぶようなものです。

しかし、地区内のクラブをみますと、奉仕活動は全然やっていないというクラブが結構多いのです。そこで、ロータリー財団の資金を使って、クラブで奉仕活動をやって頂きたいとお願いして参りました。地区補助金の申請が昨年度は17件でしたが、本年度は27件になりました。このことは、各クラブが奉仕活動を始めたことだと喜んでいきます。富津中央RCでも、次年度は是非共申請して頂きたいと思えます。

ロータリーの補助金は、地区補助金とグローバル補助金があります。この内地区補助金は非常に使

いやすくなりました。皆さんのクラブで社会奉仕活動を計画され、その資金の一部を地区補助金に申請してください。活動資金の約半分が使えます。

財団に対する寄付金は、他の団体にはない独特の仕組みで運用されています。寄付金は3種類ありますが、皆さんから毎年寄付して頂いている年次基金寄付は、財団で3年間運用します。その運用益で財団の管理運営費を賄います。そして、3年後に全額をシェアシステムで使います。恒久基金寄付は、元金は使いません。運用益を毎年シェアシステムに組み入れます。使途指定寄付金は、ポリオプラスに対する寄付金のように使途を指定します。

財団に対する寄付金は、平和な世界を推進し、きれいな水を提供し、教育をサポートし、地域経済を発展し、母子の健康を支え、疾病から人びとを守るロータリーの活動を支援するものです。寄付することにより、これらの活動に参加されておられるわけです。

第2790地区では、会員一人当たり年次基金寄付には130ドル、ポリオプラスには20ドル～25ドルをお願いしています。米国には慈善団体の格付けをする団体がありますが、これらの団体での財団の評価は、毎年最高ランクになっています。皆さんからの寄付金は、全額有意義に使われています。どうぞ安心して寄付して頂きますよう、お願いします。

「世界でよいことをしよう」これが財団の標語です。

ロータリー財団がこの理念をかたちにできるのは、皆さまのおかげです。みな様のおかげで、世界はよりよい場所となります。

ニコニコBOX

大網庄一郎 親睦担当部長

* 山田修平様 卓話をご静聴頂いて

若鍋武良 山田R財団委員長をお迎えして

榎本守男 // //

栗原典子 さきくさ慰問に参加させて頂いて

大網庄一郎 さきくさ慰問が無事終了しました

* >1,000円 合計 9,000円

出席報告

栗原典子 出席担当委員

区分	会員数	出席	欠席	MakeUp	出席率
今回	25/21	16	5		76.19%
前回	25/23	17	6		73.91%

投稿

榎本守男 会員

For everyone

No. 1

優しさを あなたに
希望を みんなに
理想を 心に
時代を超えて 笑顔に満ちた 世界を築こう
誰かが してくれた事を
誰かに してあげよう
今を生きる僕らが
これから命を授かる人の 未来の為に
共に携え 愛のあふれる 世界にしよう
勇気を出して さあ明日に踏み出そう For everyone !

No. 2

勇気を あなたに
夢を みんなに
奉仕の 心を
共に携え 喜びあふれる 世界を築こう
誰かが してくれた事を
誰かに してあげよう
僕に出来る事ならば
みんなでやれば もっとたやすく出来るはず
分かち合い 解かり合える 世界にしよう
勇気を出せば 違った未来が見えてくる For everyone !

先日石渡会員が卓話の中で、ロータリーソングの詩が今の時代から遊離してしっくりこないと話されていました。私も同様に感じていました。それならばと会員の皆さんに作詞をお願いし自分でも挑戦してみました。何せ作詞は初めてなので書き出しからもう躓いてしまいました。時間をかけて言葉を紡いで、やっとそれらしい詩が出来上がりましたので紹介させていただきます。

サビの部分は土屋亮平パストガバナーがガバナー時代によく引用し話されていた永六輔さんの詩のフレーズ「人が生きると言うことは誰かに借りを作ること」とはじまる作品の中で、私の胸に響いた“誰かにしてもらったことを、誰かにしてあげよう”にしました。

その前後を私の中に在るロータリー感をわかりやすい表現で描いてみました。タイトルは「For Everyone」です。皆さんで添削してください。又、皆さんの作詞を募集しますのでよろしくお願ひします。